

第11回 市川

荷風

生誕百四十年
没後六十周年

本年は永井荷風生誕百四十年、没後六十年にあたります。市川も終の住処とした荷風は、戦後の地に来るまで、さまざまな地を転々とした。そうした日々の中で荷風の心の支えとなつた存在のひとり、それが谷崎潤一郎です。今回は荷風と生涯交流のあつた谷崎潤一郎にスポットを当て、明治大学准教授の嶋田直哉氏にご講演いただきます。あわせて、喜多直毅氏の豊かなヴァイオリンの音色とともに、『珊瑚集』と『風邪ご、ち』を長浜奈津子氏の朗読でお楽しみいただけます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



生誕百四十年

没後六十周年

We Love Kafu

講演：永井荷風と谷崎潤一郎 —師弟・文学・疎開—

明治大学 准教授 **嶋田 直哉氏**

1971年生まれ。博士(文学)。専攻は日本近代文学・現代演劇批評。「消えたラビンスー「玉の井」の政治学」(『日本近代文学』第64集)、「永井荷風の「復活」—「つゆのあとさき」を読む」(『文学』第10巻第2号)など。国際演劇評論家協会日本センター機関誌『シアターアーツ』編集長。

おとがたり：『珊瑚集』『風邪ご、ち』—ヴァイオリンの音色とともに—

俳優 女優 **長浜 奈津子氏**

舞台中心の演劇活動の他、ひとり語り「朗読空間」の定期公演を継続中。喜多直毅氏との朗読音楽ユニット「おとがたり」の活動を都内に展開している。

ヴァイオリニスト **喜多 直毅氏**

国立音楽大学卒業後、英国にて作曲を、アルゼンチンにてタンゴ奏法を学ぶ。我が国においても最も先鋭的な活動を行うヴァイオリニストの一人である。

2019

5/5 日 13:30~16:15

開場 13時 (整理券配布:12時30分)

無料 当日先着 220名 (申込不要)

開場 市川市生涯学習センター2階グリーンスタジオ

画像提供：永井社一郎
撮影：井沢昭彦



【交通アクセス】【JR総武線】本八幡駅・下総中山駅より徒歩15分
【都営新宿線】本八幡駅より徒歩20分【京成線】鬼越駅より徒歩10分
【車】京葉道路 市川インターから5分
※駐車場はありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市川市文学ミュージアム
Ichikawa City Museum of Literature